

平成22年3月期第2四半期決算概要説明資料

1. 平成22年3月期の業績推移	…… P. 1
2. 連結損益計算書	…… P. 2
3. 連結貸借対照表	…… P. 3
4. 事業セグメント別業績推移	…… P. 4
5. 平成22年3月期の業績改善施策の進捗状況	…… P. 5

平成21年10月28日

 **日立電線株式会社**

お問合せ先 人事総務本部総務部広報グループ
TEL 03-6381-1050
FAX 03-5256-3240

1. 平成22年3月期の業績推移

(1) 期初予想値との比較

[単位: 億円、(億円未満は四捨五入)]

	当第2四半期 累計期間(A) 予想値	当第2四半期 累計期間(B) 実績値	差異(B)-(A)
売上高	1,770	1,703	△67
営業利益	△ 50	△ 53	△ 3
うち電線・ケーブル	10	△ 16	△ 26
うち情報通信ネットワーク	5	6	+1
うち高機能材料	△ 67	△ 45	+22
経常利益	△ 50	△ 38	+12

(2) 四半期ごとの推移

[単位: 億円、(億円未満は四捨五入)]

	前第4四半期 (平成21年1月-3月)	当第1四半期(A) (平成21年4月-6月)	当第2四半期(B) (平成21年7月-9月)	差異(B)-(A)
売上高	906	799	904	+105
営業利益	△ 77	△ 37	△ 16	+21
うち電線・ケーブル	△ 26	△ 11	△ 5	+6
うち情報通信ネットワーク	5	0	6	+5
うち高機能材料	△ 57	△ 28	△ 18	+10
経常利益	△ 110	△ 26	△ 12	+14

2. 連結損益計算書

[単位:億円、()内は前年同期との増減]

	平成21年3月期		平成22年3月期	
	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期 [予想]
売上高	2,810	4,932	1,703 (△1,108)	3,800 (△1,132)
営業利益	34	△ 147	△ 53 (△88)	10 (+157)
営業外収益	25	29	26 (+1)	-
営業外費用	△ 16	△ 81	△ 11 (+6)	-
経常利益	43	△ 200	△ 38 (△81)	10 (+210)
特別利益	1	1	- (△1)	} △30
特別損失	△ 10	△ 132	△ 6 (+4)	
税金等調整前純利益	34	△ 330	△ 44 (△78)	△ 20
当期純利益	4	△ 538	△ 49 (△53)	△ 30 (+508)

(1) 売上高増減要因について

・銅価変動の影響	△270
・連結範囲の変更による増減	+12
・為替による影響	△48
・純増減分他	△802
合計	△1,108

(2) 営業利益増減要因について

・売上純増減による利益増減	△200
・連結範囲の変更による増減	△5
・為替による影響	△9
・固定費減少	+94
・その他	+32
合計	△88

(3) 経常利益増減要因について

・(2)営業利益の増減要因	△88
・持分法投資利益の増加	+9
・その他	△2
合計	△81

3. 連結貸借対照表

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期 (平成21年3月31日現在)	平成22年3月期 第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	増 減
流動資産	1,307	1,393	+86
固定資産	1,483	1,515	+32
有形固定資産	1,109	1,082	△27
無形固定資産	108	117	+9
投資その他資産	266	316	+51
資産合計	2,790	2,908	+118
流動負債	954	1,093	+139
固定負債	507	515	+8
負債合計	1,461	1,609	+148
純資産合計	1,329	1,299	△29
負債、純資産合計	2,790	2,908	+118

【主な増減要因】

(1) 資産

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期	平成22年3月期 第2四半期末	増 減
受取手形及び売掛金	704	750	+46
たな卸資産	389	471	+82

(2) 負債

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期	平成22年3月期 第2四半期末	増 減
支払手形及び買掛金	426	498	+72
有利子負債	439	547	+108

4. 事業セグメント別業績推移

銅価前提
500千円/トン

銅価前提
400千円/トン

(1) 事業の種類セグメント別売上高(外部顧客に対する売上高)

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成20年3月期							平成21年3月期							平成22年3月期					平成22年3月期		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	上期 累計	下期 累計 【予想】	年度 累計 【予想】	上期 累計 【前回予想】	下期 累計 【前回予想】	年度 累計 【前回予想】
産業用・電力用ケーブル	342	364	377	364	707	740	1,447	339	364	311	252	703	560	1,263	218	221	439	511	950	450	460	910
機器用電線・配線部品	116	111	119	113	227	232	459	104	116	99	64	220	164	384	67	71	138	172	310	150	160	310
巻線	223	244	231	247	467	478	945	225	234	198	127	459	327	786	95	119	214	296	510	245	270	515
電線・ケーブル事業	682	719	727	723	1,400	1,450	2,851	668	714	608	443	1,382	1,051	2,433	380	411	791	979	1,770	845	890	1,735
情報ネットワーク	54	82	79	92	136	171	307	74	75	61	77	149	138	287	41	55	96	149	245	120	160	280
ワイヤレスシステム	44	57	61	76	101	136	237	47	52	58	61	99	119	219	36	52	88	127	215	90	100	190
光・通信ケーブル	40	47	42	40	86	82	169	41	40	42	32	81	74	155	32	31	62	68	130	60	65	125
光海底ケーブル	21	25	26	24	46	50	96	29	25	29	22	54	51	105	28	25	53	17	70	45	25	70
情報通信ネットワーク事業	159	210	208	232	369	440	809	191	193	190	192	384	382	766	138	162	300	360	660	315	350	665
化合物半導体	35	36	37	36	71	73	144	36	36	32	15	72	47	119	18	27	45	65	110	40	65	105
TAB	58	69	58	46	128	103	231	59	83	49	45	141	94	235	55	58	113	117	230	100	105	205
リードフレーム	68	81	70	78	149	148	297	63	67	45	27	129	72	201	22	34	56	74	130	50	55	105
自動車用部品	85	89	83	96	174	179	353	103	112	99	74	215	172	386	66	78	144	186	330	160	165	325
銅管	79	71	55	64	150	119	268	72	60	58	44	132	102	234	41	32	74	71	145	90	95	185
銅条	89	105	120	101	194	221	415	105	102	70	25	208	96	304	44	61	105	145	250	85	105	190
電気用伸銅品他	61	63	73	60	125	133	258	66	65	57	34	130	92	222	31	35	66	89	155	70	85	155
高機能材料事業	476	514	495	480	990	976	1,966	503	525	409	264	1,028	673	1,701	277	325	602	748	1,350	595	675	1,270
物流・サービス他	8	7	9	10	15	20	34	7	10	8	7	17	15	32	5	5	10	10	20	15	15	30
その他事業	8	7	9	10	15	20	34	7	10	8	7	17	15	32	5	5	10	10	20	15	15	30
計	1,324	1,450	1,439	1,446	2,775	2,885	5,660	1,370	1,441	1,215	906	2,810	2,121	4,932	799	904	1,703	2,097	3,800	1,770	1,930	3,700

(2) 事業の種類セグメント別営業利益

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成20年3月期							平成21年3月期							平成22年3月期					平成22年3月期		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	上期 累計	下期 累計 【予想】	年度 累計 【予想】	上期 累計 【前回予想】	下期 累計 【前回予想】	年度 累計 【前回予想】
電線・ケーブル事業	25	30	31	28	55	59	113	19	17	△ 31	△ 26	36	△ 56	△ 21	△ 11	△ 5	△ 16	32	16	10	25	35
情報通信ネットワーク事業	3	21	21	24	25	45	70	16	11	6	5	27	11	39	0	6	6	25	31	5	30	35
高機能材料事業	8	19	6	8	28	14	42	△ 7	△ 25	△ 83	△ 57	△ 32	△ 141	△ 173	△ 28	△ 18	△ 45	2	△ 43	△ 67	2	△ 65
その他事業	1	1	2	2	2	4	7	1	2	3	1	3	4	7	1	1	3	3	6	2	3	5
連結全社合計	38	71	60	62	109	122	231	29	5	△ 105	△ 77	34	△ 182	△ 147	△ 37	△ 16	△ 53	63	10	△ 50	60	10

* 単位未満を四捨五入しているため、個々の項目の合算と合計が合わない箇所があります。

* 「前回予想」は、2009年7月28日の「平成22年3月期 第1四半期決算短信」発表時に公表した数値(期初の予想値からの変更なし)を記載しております。

5. 平成22年3月期の業績改善施策の進捗状況

(1)現在進行中の業績改善施策

①事業再編関係

(ア)機器用電線事業

・海外生産拠点 4社削減

ハンガリー子会社清算(2月)、中国子会社売却(7月)、今後さらに2社削減を検討

・ヒタチケーブル・ベトナム社操業準備再スタート 平成22年開業目標、アジアの量産拠点化

(イ)TAB事業

・COF:日立電線フィルムデバイス(株)への生産拠点集約は、予定通り進捗。今年中には完了予定。

・メモリー用TAB:新製品の立上げ順調(現状、月産約1億個)。さらに数量増の見通し。

原価低減による収益力強化を推進。

(ウ)リードフレーム事業

・生産拠点の再編

国内:金型拠点集約完了、海外:製造拠点の再編検討

・高付加価値製品への注力

パワーデバイス半導体モジュール用、ミントランジスタ用、LED用

(エ)自動車用部品事業

・ホース部品はフロリダ・メキシコの2社で注力

メキシコは新建屋での増床・設備増強完了、量産開始

・ヒタチケーブル・インディアナ社はHV用電源ハーネスに集中

(オ)銅条事業

・半導体用銅条、銅箔への注力

(カ)国内外販売会社再編

・日立電線商事(株)と藤長電気(株)合併により、東日本1社、西日本1社の体制確立

・韓国拠点の閉鎖

②固定費削減→年間目標額175億円、上期増益効果額94億円(前年同期対比)

(ア)人件費の削減

(イ)固定資産減損・減却(昨年度実施分の効果)

(ウ)新規設備投資の圧縮 等

(2)今後の注力事業

①新エネルギー・環境関連事業、産業インフラ事業の強化・拡大

(ア)HV/EV関連(巻線、リチウムイオン電池用銅箔、電源ハーネス)

(イ)再生可能エネルギー関連(太陽電池用平角めっき線、風力発電設備向け巻線及びケーブル)

(ウ)次世代クリーンエネルギー関連(原子力発電用ケーブル、国際熱核融合実験炉ITER向け超伝導ケーブル)

(エ)産業インフラ関連(鉄道車両用電線・ケーブル、医療用プローブケーブル)

②情報通信インフラ事業の拡大

(ア)情報ネットワーク事業の海外展開(ベトナム、タイで本格採用、その他複数案件を受注見込み)

(イ)次世代携帯電話(3.9G)用アンテナシステム